

はらっぱ

令和5年12月21日
山形市立南沼原小学校
学校だより 第8号
文責：校長 石澤 友章



第2節 充実した85日間 ～4年ぶりを前向きにとらえる～

「地球沸騰化」という言葉に表された厳しい暑さのなかにはじまった85日間の第2節も終わりに向かい、2023年も幕を閉じようとしています。「4年ぶり」という言葉が、新語・流行語大賞のトップテンにランクインしましたが、第2節の学校生活では大きなものだけでも、声出し応援の運動会、集合型のPTA学年行事、たてわり班活動、バイキング給食、収穫感謝祭など数えきれないほどです。



自然に笑顔があらわれてくる6年生のバイキング給食

これまで我慢を余儀なくされた3年間はつらいものでしたが、その経過を経たからこそ、改めてその良さを実感し、ありがたみに気づかされたように思います。何よりも、子どもたちが一つ一つに前向きに取り組み、教職員も新しいアイデアを出し合いながら懸命に子どもたちを支えようと頑張ったことに価値があると思っています。保護者の皆様、地域の皆様には本当にいつも学校を支えていただきました。引き続き、第3節もよろしくお願いいたします。そして、よいお年をお迎えください。

子どもの発達を支える「3つの間」 ～放課後遊びの取り組み～

子どもの運動能力低下の背景にある遊びの消失。そこには、子どもたちを取り巻く環境から、体を使った遊びに必要な「3つの間」が消えているからと言われています。それは、遊び場である「空間」、塾や習い事が多様化したことによる「時間」、そして、そのことにより「仲間」と一緒に過ごす機会が減少していることを指しています。私自身もそうでしたが、一昔前の子どもの生活には「放課後、近所の空き地で暗くなるまで熱中して遊ぶ」というのが当たり前でした。現代においてそれが自然発生的に起きるのは不可能に近いと言わざるをえません。帰宅してからは、なかなか外に出て遊ぶことが難しい子どもたちにとっては、「3つの間」を意図的に提供することが必要です。

本校では、遊びの楽しさを味わわせ、運動の習慣化を図り、児童の体力向上を目的として11月より、「放課後遊び」をはじめました。これは、5校時授業日の放課後、職員の会議等がない日に下校時刻まで遊びを可能とするものです。安全を確保するために、遊びの種類ごとにエリアを区切り、ルールや時間などの約束事を確認したうえで実施しています。実施にあたっては、時間を守らないとか、大きなトラブルや怪我の増加も心配されましたが、子どもたちはきちんとルールを守って行動し、今のところおおむね仲間と楽しく過ごす空間、時間となっていることをうれしく思います。また、子どもたちを信じて、実施に動いた本校の教職員を頼もしくも思います。

PTAの学校保健委員会の皆様からも、「自由に体を動かせる時間と場所が確保された放課後遊びをぜひ続けてほしい」「ルールを守る、メディアから離れる、遊びから学ぶ等大事な時間になる」「運動の楽しさや重要性を捉え、積極的に参加させたい」など前向きなご意見を多数頂戴しました。



何よりも、子どもたちに「放課後遊びってどう？」と聞くとどの子からも「楽しいです！！」と笑顔で返事が返ってくることが嬉しいです。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

～ 運動に親しみ体力の向上 委員会活動でも ～

今月は、スポーツ委員会が「スポーツ大会」を企画してくれました。6日間かけて、全学年がドッジボールを楽しみました。ルール作成から当日の運営まで、スポーツ委員の子どもたちがやり遂げて



くれました。楽しそうにゲームに参加する子どもたちも素敵でしたが、スポーツ委員の子どもたちの



最終日の振り返りの様子からは、「全校生を動かすことの難しさを学びつつ、みんなが楽しんでもくれたのでやってよかった」という思いが伝わってきました。「自分たちの学校生活を自分たちで創っていく」喜びを味わうことができたことを喜んでいます。

「おめでとう」を紹介します！

本校では、東北大会・全国大会に学校代表で出場・出品した場合、この学校だよりでお知らせすることになっています。この度、令和5年度明るい選挙ポスターコンクールの第3次審査（中央審査＝全国大会と同等）が実施され、6年高橋ツクシさんの作品が公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（山形県から2人・全国で60人）に入賞しました。作品は県のホームページでご覧いただけます。（「明るい選挙ポスター」で検索又は https://www.pref.yamagata.jp/documents/36411/02_kekka.pdfへアクセス） 誠におめでとうございます。

冬休みは子どもの自律をうながすチャンス

冬休みは、年末年始ならではの生活を味わう貴重な機会です。また「自分で決めて、実行する」を実践し、自律した生活習慣を身につけるチャンスですので、夏休み前にも掲載したことを改めて確認したいと思います。どうぞよい冬休みとなりますように。

自律した生活のために、おうちの皆様に考えていただきたいこと

◇時間や行動を自分でコントロールする力を高める

- ・就寝、起床時刻を安定させる
- ・メディアに触れる時間の約束をおうちの人と一緒に決める
⇒ 今月、「あなたは大丈夫？～スマホ依存・ネット依存～」と題して、児童向けの PTA はらっぱ授業が行われました。来月号で紹介する予定ですが、どんな内容だったか、どうぞお子様と話題にしてください。
- ・計画する→実行する→振り返る のサイクルを大切にする
学年が上がるにつれて「口や手を出す」から「本人に考えさせる」かわり方を

◇健康な心身を整える自己調整力を高める

- ・バランスのとれた食事、間食のしすぎに気をつける
- ・適度な運動やお手伝いなどで体を動かす

※学校の出来事や子どもたちの様子を本校ホームページ「はらっぱニュース」（随時更新中）で紹介しておりますので、是非ご覧ください。（QRコードをご活用ください→）

